

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門ミニシンポジウム

コンクリートの非破壊試験の展望

～材料特性の理解と技術の現在地～

主催：(一社) 日本非破壊検査協会 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門

協賛：関連学協会へ依頼中（未定）

CPD, CPDS 申請予定

【開催主旨】

コンクリートの非破壊試験は、建設インフラのメンテナンスに不可欠な技術であります。しかし、鋼材等と比較するとその適用は進んでいないと思われることがあります。これは、非破壊試験を適用する上で、コンクリートに特有の複雑さがあることによるものです。鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門は、この課題に長年取り組み、適用可能な試験方法を規格化によって確立してきました。2026年3月に発行される機関誌「非破壊検査」では、特集号が企画され、第一部「なぜコンクリートは非破壊試験を難しくするのか」で材料特性を深く掘り下げ、第二部「規格から現場まで：コンクリート構造物への非破壊試験の貢献」で具体的な適用方法と貢献事例が解説される。今回のミニシンポジウムは、この特集号の貴重な知見をさらに深掘りするため、この特集号の執筆者の皆さんに直接ご講演頂き、さらに、鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門のこれまでの活動を振り返ることを目的として開催するものであります。

本シンポジウムは、コンクリート構造物の維持管理における非破壊試験の発展に寄与することが期待されます。

【日時】2026年5月28日（木）13:30～17:00

【会場】(一社) 日本非破壊検査協会亀戸センター6階

東京都江東区亀戸2丁目25-14 京阪亀戸ビル6階（受付6階）

【参加費】

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録団体会員	無料
鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録個人会員	
建設インフラ部門登録団体会員	
建設インフラ部門登録個人会員	
講演者	
学生	
上記以外の方	2,000円
懇親会	5,000円

【申込方法】協会ホームページ(<https://sciences.jsndi.jp/rebar/>)からお申し込み願います。

【プログラム（13:30～17:00）】※予定

●開催主旨、プログラム説明

澤本武博（ものづくり大学・鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門主査）

＜第一部＞なぜコンクリートは非破壊試験を難しくするのか？

①複合材料であり、使用材料や施工条件によって性質が異なるため

小林幸一（（一社）セメント協会）

②表面アプローチ非破壊試験の限界と非破壊試験（微破壊）の意義

湯浅昇（日本大学）

③コンクリート中の水分の効果と影響

今本啓一（東京理科大学）

～休憩～

＜第二部＞規格から現場まで：コンクリート構造物への非破壊試験の貢献

①NDIS 制定状況と非破壊試験で何を知ることができる？

渡辺健（徳島大学）

②建設・竣工時の検査で活躍する非破壊試験

濱崎仁（芝浦工業大学）、森濱和正（ものづくり大学）

③維持管理で活躍する非破壊試験

佐藤大輔（（株）コンステック）、岩野聰史（リック（株））

～休憩～

意見交換会

～「鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門」のこれまでと「建設インフラ部門」のこれから（仮）～
＜内容＞

研究委員会活動、部門講演会、さらに規格制定活動と活発な活動を継続して実施してきた「鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門」が幕を閉じ、新たに「建設インフラ部門」へと移行されていきます。これまでの部門の足跡を振り返りつつ、コンクリートの非破壊試験の役割を担う新部門の活動内容について、意見交換を行います。

●閉会挨拶

※懇親会を 17:15～ 亀戸センター 6 階で開催します（参加費別途）。